

行政報告

湯沢町長
村山隆征

今夏は厳しい暑さが続きましたが、7月13日には記録的な集中豪雨による水害に見舞われ、三条市、見附市、中之島町、長岡市など中越地区の各地に大きな被害をもたらしました。被害に遭われました皆様方に対し、お見舞い申し上げますとともに、災害でお亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

一日も早く復旧を願うものでありますが、湯沢町から災害救援ボランティア活動に参加をいただいた多くの町民の皆様へ、改めて感謝を申し上げます。

8月末現在でまとめた

主要観光施設の入り込み客数の対前年比は、4月から8月で101・09%（41万5千人）となっております。

7月1日には、中山間地域総合整備事業による「体験工房大源太」が完成し大変盛況であります。今後もそば打ちを始め、笹団子、あんぼ造り等の体験を通じた観光客の誘致と、地域振興を図って参ります。

保健医療センターでは、かねてより入院患者等から要望が多かった、院内売店を10月1日から開店することになりました。院内売店は「患者のオアシス」として供給ができ、患者や介護者の負担軽減をすることができるようになります。

一般県道越後湯沢停車場、岩原線の新東橋が8月23日竣工し開通いたしました。事業着手から6年の歳月を得て完成しました。新東橋が地域経済

と文化の交流に重要な役割を果たすものと確信いたしましたしております。

9月1日に国道17号線新三国トンネル開削促進期成同盟会総会が、新治村において開催されました。新三国トンネル開削を強く要望し、早期実現することが決議されました。尚これまでの運動が実り、平成16年度には地質調査や予備設計に着手が予定されています。

三保地域振興策について、地元三保まちづくり協議会から新たな協議の枠組の要請に対し、早期に四者（国・県・町・地元協議会）協議の場を設定することになり、町として地域の意向を踏まえ振興策の早期実現を目指して、精力的に協議を進めて参りたいと考えています。

平成15年度決算審査報告



代表監査委員
野口雅男

一般会計 特別会計

一、審査の総括

審査に付された平成15年度一般会計及び国民健康保険、老人保健、介護保険、下水道の4特別会計の歳入歳出決算書及び付属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成され、数値は帳票と符合し、正確であると認められました。

二、審査の概要

一般会計を始め、4特別会計の収支はすべて黒字決算で、収入支出の均衡が図られていました。

次に財政の健全性を示す指標である経常収支比率についても、70%以下が望ましいとされており、前年より0.2ポイント上昇したものの、70%のガイドラインを僅か0.1%超えたに過ぎず、ほぼ基準以下に止まっております。良好な財政状態であることが確かめられました。

このような財政を背景に、町民のニーズに添った各種の施策や事業が展開され、町民の福祉の向上が図られてきました。